

1. 日米株式と円/ドルの推移

<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2023/12/31	2024/8/30	2024/9/20	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	33,464.17	38,647.75	37,723.91	42,426.77	2024/7/11	24,681.74	2022/3/9
NYダウ	ドル	37,689.54	41,563.08	42,063.36	42,190.05	2024/9/23	28,660.94	2022/10/13
円/ドル	円	141.04	146.17	143.85	161.95	2024/7/3	110.26	2021/9/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～FOMCの結果が好感されたことなどから上昇～

先週の日本株市場は、日経平均が1,142.15円(3.12%)、TOPIXが71.21ポイント(2.77%)となり、FOMC(米連邦公開市場委員会)の結果が好感されたことなどから上昇しました。業種別でみると海運業、非鉄金属、石油・石炭製品、輸送用機器、鉄鋼などの32業種が上昇した一方、電気・ガス業が下落しました。

週初17日は、翌18日まで開催されているFOMCで0.5%の利下げが行われるとの観測が強まり、日米金利差縮小が意識されたことから前日16日に一時139円台まで円高が進行したことや米長期金利が低下したことを受け、輸出関連銘柄や金融株を中心に下落しました。18日は、前日発表された8月の米小売売上高が市場予想を上回ったことを受け円安に転じたことにより、前日下落していた輸出関連銘柄を中心に買いが集まり反発しました。19日は、FRB(米連邦準備理事会)がFOMCにて0.5%の利下げを決定したものの、参加者が予想する2024年末のFFレートの中央値は市場予想を上回ったことなどから円安が進行したこと、パウエルFRB議長が会見で「米景気は良い状態」と発言したことなどを背景に、日本株市場は大幅に上昇しました。週末20日は、米国株市場がFRBの大幅利下げを好感して上昇したことや、日銀の金融政策決定会合が現状維持だったことなどから、3日連続の上昇となりました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
9月24日	Tue	ドイツ	IFO企業景況感指数	9月	86.6
		米国	消費者信頼感指数	9月	103.3
9月25日	Wed	米国	新築住宅販売件数	8月	73.9万件
9月26日	Thu	米国	耐久財受注(前月比)	8月	+9.8%
9月27日	Fri	日本	東京都区部CPI(消費者物価指数)(除生鮮エネ/前年比)	9月	+1.6%
			自民党総裁選投票開票		
		中国	工業利益(前年比)	8月	+4.1%
		米国	PCE(個人消費支出)価格指数(前年比)	8月	+2.5%

決算発表予定 他	国内	決算発表 :	9/25 日本オラル
	海外	決算発表 :	9/25 マクロン・テクノロジー 9/26 アクセンチュア、コストコ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～日米金融政策イベントを通過した安心感が押し上げるも、自民党総裁選挙を控え徐々に様子見姿勢が強まる展開～

今週の日本株市場は、日米金融政策イベントを通過した安心感が押し上げるも、自民党総裁選挙を控え徐々に様子見姿勢が強まるとみえます。

先週のFOMCは0.5%の利下げを決定した一方、参加者が予想する2024年末のFFレートの中央値は市場予想を上回り、今後は斬新的なペースでの利下げを実施する方針であることが示されました。また、パウエルFRB議長は雇用に関する下振れリスクを指摘しつつも米景気は堅調との認識を示しており、米主要株価指数はこれらFOMC結果を好感し、史上最高値を更新しています。日本株市場にとっても、米国株高や米大幅利下げを背景とする急激なドル安円高への警戒感が和らいだことは、しばらくプラスに働くとみえます。また、日銀の金融政策決定会合後に植田総裁が追加利上げに慎重な姿勢を示したことも安心感に繋がっており、株価を押し上げるとみえます。ただ、今週末に自民党総裁選挙の投票開票を控え各候補者が掲げる経済・財政政策に注目が集まる中で、一部候補者が財政健全化や金融政策の正常化に前向きな姿勢を示していることから、徐々に選挙結果を見極めたいとする様子見姿勢が強まるのが上値抑制要因に働くとみえます。その他の注目材料として、日本では27日の東京都区部CPI、米国では24日の消費者信頼感指数、27日のPCE価格指数、ドイツでは24日のIFO企業景況感指数、中国では27日の工業利益などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.  
URL: <https://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会